



**戦争をさせない
1000人委員会**
Anti-War Committee of 1000

信州（仮）準備会ニュース

戦争をさせない1000人委員会・信州（仮）準備会

2014年7月3日 〇-④号

〒380-0838 長野市県町532-3 県労働会館
電話 026(234)2116
FAX 026(234)0641
E-mail vi4h-kt@asahi-net.or.jp

安倍政権は「閣議決定」を撤回しろ！

「戦争をさせない1000人委員会・信州」（仮称）の立ち上げへ！

8月3日（日）13時30分 長野市・JAビル・アクティホール

信濃毎日新聞（2014年7月3日）

8月9日（土）には

「委員会・まつもと」が結成

◆「戦争をさせない1000人委員会・信州」（仮）結成の目的

今年3月東京で、作家の大江健三郎氏や落合恵子氏、瀬戸内寂聴氏、放送作家の永六輔氏、映画監督の山田洋次氏などが呼びかけ人となり「戦争をさせない1000人委員会」が発足しました。「1000人委員会」は、「平和のうちに生きたいとする願いは、世界の人びとの共通のものです」「憲法9条を空文化し、集団的自衛権の行使を認め、戦争準備をすすめる秘密国家をつくろうとする政府への批判活動を行うなどとする「アピール」を発表し、全国で賛同人・賛同者を募り、国民世論を喚起する活動を展開しています。

「1000人委員会」は、この「アピール」に賛同する「1000人委員会」を全国各地に結成しようと呼びかけています。集団的自衛権の行使容認と憲法の実質改憲に反対し、憲法9条を死守するため、「戦争をさせない1000人委員会・信州」を結成します。

◆今後の取り組みの方向

- 7月19日（土）に松本市・勤労者福祉センターで「発起人会議」を開き、「長野県民へのアピール文」を確認、さらに多くの「呼びかけ人」を募ります。
- 発起人・呼びかけ人が確定した段階で記者会見を開き、出発集会などを企画します。
- 活動として賛同者（団体・個人）を募り国民世論を喚起します。また、講演会などを企画します。全国的に展開されている署名活動にも取り組みます。

**奥平康弘（東大名誉教授）講演会も
8月3日（日）に長野市で同時開催**

**集団的自衛権反対の声途切れさせない
1000人委「県内に組織」**

「全県」「松本」来月発足

政府が1日に閣議決定した憲法解釈の変更による集団的自衛権の行使に反対するため、3月に著者や作家らが都内で結成した「戦争をさせない1000人委員会」の全県と松本地方の組織が8月にそれぞれ発足する。全県組織の発起人は2日現在、大学教授や弁護士、作家ら41人。講演会や署名活動などを通じ、反対の声を広げるとしている。



発足するのは全県組織のした。全県組織は今年10日に「戦争をさせない1000人」松本市で発起人会議を開き、委員会・信州」と、松本地方「アピール文と運動方針を決める。8月3日に長野市で結成。市には自衛隊が事実上、（専ら人委員会・まつもと）」（とも）集会を開く。松本地方の組織（仮称）。5月に県議選連合は同日9日に松本市で結成集会を兼ねる。全県組織の発起人の1人で



小諸市議会の事務局長（左）に請願書を手渡す依田さん（右）

好に努力するべきだ。元日弁連副会長の佐藤豊さん（66）の石川文洋さん（諏訪市）らで結成。「憲法9条を空文化」長野市にも「重要な安全保障の問題を憲法の解釈変更で解決しようとする姿勢は、法学家として見過ごせない」と話している。

発起人にはほかに、学院大の青井未帆教授（元信州大准教授）、日本チエルノフイリ連帯基金（松本市）の神谷

さだ子事務局長、報道写真家の落合恵子さんが呼び掛けの名を連ねた。松本地方の組織も、中信地方の大学の教授ら十数人が発起人になることを承諾している。

全県組織の「戦争をさせない1000人委員会」（事務局は、東京は、奥平康弘・東大名誉教授（憲法学）やルポライターの鎌田慧さん、作家織ができています。

小諸などで請願や声明発表

憲法解釈を変更し、集団的自衛権の行使を容認する閣議決定から一夜明けた3日、県内では秋の臨時国会に見込まれる自衛隊法など関連法の改正をにらみ、複数の市民団体などが反対の声を強めた。

小諸市は有志でつくる「憲法9条を守る会」は、歩を踏み出したと批判。「集団的自衛権の行使に反対する請願書」を市議会に提出。昨年の市議会が月定期会にも決定から一夜明けた3日、県内では秋の臨時国会に見込まれる自衛隊法など関連法の改正をにらみ、複数の市民団体などが反対の声を強めた。

小諸市は有志でつくる「憲法9条を守る会」は、歩を踏み出したと批判。「集団的自衛権の行使に反対する請願書」を市議会に提出。昨年の市議会が月定期会にも決定から一夜明けた3日、県内では秋の臨時国会に見込まれる自衛隊法など関連法の改正をにらみ、複数の市民団体などが反対の声を強めた。

小諸市は有志でつくる「憲法9条を守る会」は、歩を踏み出したと批判。「集団的自衛権の行使に反対する請願書」を市議会に提出。昨年の市議会が月定期会にも決定から一夜明けた3日、県内では秋の臨時国会に見込まれる自衛隊法など関連法の改正をにらみ、複数の市民団体などが反対の声を強めた。